

資料提供	
令和 8 年 9 月 15 日	
担当課 (担当者)	高等学校課 (河崎、津村)
電話	0857-26-7517

N-E.X.T. (ネクスト) ハイスクール構想 高等学校等教育改革促進事業 採択結果の公表

高校改革推進のパイロットケースとして先導拠点校を創設するための高等学校等教育改革促進事業について、追加第 1 回公募（8 月 10 日ㄆ）に申請していたところですが、9 月 15 日に以下のとおり採択結果が公表されました。（全校満額採択）

今後、産業界、大学等と一体となり、地域全体で社会状況の大きな変化が予想される 2040 年の社会に必要とされる生徒を育成できる環境を作るとともに、地域や日本、世界を支える人材育成を推進します。

また、令和 9 年度に国が創設予定の高等学校教育改革交付金（仮称）等を活用し、先導拠点校以外の高校も含め、教育改革を進めていきます。

記

1 採択結果

全校採択（申請額と採択額（事業費上限額）は同額）

	類型	学校名	事業計画	事業費上限額
1	アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成（専門性高度化）	鳥取工業	地域の持続的発展に貢献する人材育成に向けたドローン技術等 DX・AX 技術の学びの拠点形成	27.2 億円
		倉吉農業	確かな基礎知識とスマート農業の融合による農業経営の学びをとおした次世代の農業の担い手育成拠点形成	14.6 億円
2	理数系人材育成	鳥取西	探究の高度化をとおした社会の進歩をリードする国際性豊かな理数系人材の育成拠点形成	8.8 億円
3	多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保	境港総合技術	支援を必要とする生徒の居場所づくりと体験を伴う教育活動拠点形成	9.9 億円
			地域と連携した「社会的自立」と「地元産業人材育成」プロジェクト	

※事業概要は別紙のとおりです。

※採択結果の詳細は文部科学省ホームページをご覧ください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/mext_00074.html

2 今後のスケジュール（予定）

※詳細は、別途資料提供します。

9 月 30 日（水）	高校教育改革推進コンソーシアム第 2 回部会（分科会）開催 （会場：各先導拠点校）
10 月 1 日（木）	
10 月 27 日（火）	高校教育改革推進コンソーシアム第 2 回全体会開催 （会場：県庁）

高等学校等教育改革促進事業 事業概要

申請総額 6,048,241 千円（補助上限 62 億円程度）

類型 1：アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成（専門性高度化）

鳥取工業高校

※事業費概算：
27 億 2 千万円

[主な連携校]

八頭高校

倉吉総合産業高校

米子工業高校

地域の持続的発展に貢献するドローン技術等 DX・AX 技術を兼ね備えた人材育成

「くくり募集の強みを活かし、点から線の学びへシフト」を核とし、以下の 3 段階カリキュラムで、地域の課題をデジタル技術で解決するイノベーション・センターへとブランド転換する。

■教育課程の再設計（年次別の学びの構造）

1 年：共創・DX 基礎

2 年：専門深化

3 年：地域実装・技術融合

全生徒必修「デジタルプロトタイプング」で CAD・ドローン等の基礎を体験

4 学科コア科目で CAE 解析・VR 訓練等の先端機器実習へ発展

学科横断 PBL「地域インフラの DX 点検・防災プロジェクト」

- ・校内の学科横断に加え、高大、企業と連携した共同研究を行う場として「DX・AX ラボ（新築）」を整備
- ・飛行技術に加え、プログラミングや開発などの技術も学ぶことが可能な「ドローン飛行場（化学実習棟改修）」を整備
- ・熟練技術者の技術継承等を目的とした「モーションキャプチャー関連機器」の整備



倉吉農業高校

※事業費概算：
14 億 6 千万円

[主な連携校]

鳥取湖陵高校

智頭農林高校

スマート農業による農業経営の学びをととした次世代の農業の担い手育成

農業従事者が減少する中において、単なる生産技術の向上にとどまらず AI 等の最先端技術の実装や、データ分析力の向上、マーケティングやアントレプレナーシップの経営視点を取り入れた「稼げる次世代の農業」の教育モデルを構築することにより、本県の農業の高度化を牽引する。

■教育課程の再設計（年次別の学びの構造）

1 年：基礎・可視化

2 年：応用・データ分析

3 年：実践・経営発信

栽培・畜産の基礎、データで社会を可視化

スマート農業機器を用いた応用実習

農業大学校との共同研究、経営発信

- ・最新機器の操作技術の習得とデータ分析能力の育成に力点を置いた「スマート農業の推進」
- ・和牛王国鳥取を担う畜産人材育成のための「牛舎整備（和牛舎新築、乳牛舎改修）」整備



類型 2：理数系人材育成

鳥取西高校

※事業費概算：
8 億 8 千万円

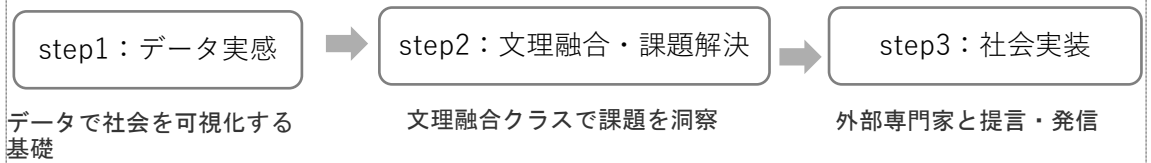
[主な連携校]

鳥取東高校
倉吉東高校
米子東高校

探究の高度化をととした社会の進歩をリードする国際性豊かな理数系人材の育成

研究開発を担う人材不足を解消するため、理数系人材（産業イノベーション人材）の育成拠点として教育課程の改編と産官学連携の拠点整備に取り組む。

■教育課程の再設計（年次別の学びの構造）



- ・産官学と連携した高度な研究拠点及び海外大学等との協働的探究活動の場として「**研究ラボ（第3校舎改修）**」を整備
- ・夜間にしかできない観測や昼夜を通した長時間の継続的実験等が可能な「**セミナーハウス（既存施設改修）**」の整備



類型 3：多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保

境港総合技術
高校

※事業費概算：
9 億 9 千万円

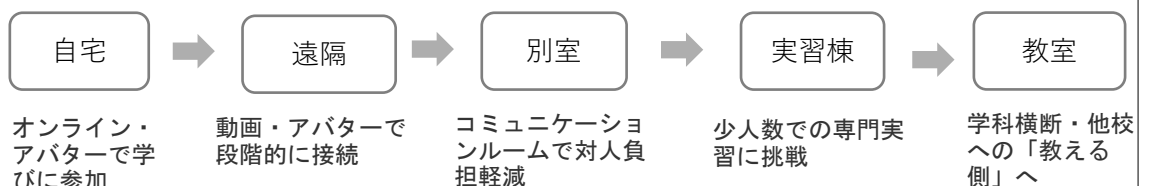
[主な連携校]

境高校
日野高校
鳥取緑風高校
米子白鳳高校

様々な背景を持つ生徒の居場所づくりと地域を教材とした体験を伴う教育活動をととした自己有用感の回復と社会的自立

- ・複数の専門学科を設置（水産、福祉、工業）し、自分の所属する学科以外の学びもできる総合選択制高校としての強みと、専門高校ならではの実習（体験を伴う学び）ができる環境を活かし、地域や産業界と密に連携し、様々な背景をもつ生徒の居場所となる環境づくりをめざす。
- ・3年間をととして、多様な困り感を持つ生徒の安心感とスキル向上を両立させるため、校内の環境整備、組織体制、学校設定科目をパッケージ化した独自のサポートプログラム（ライフ・リテラシー・プログラム（LLP））を展開する。

■教育課程の再設計（個々の状態に応じた段階的な学び）



- ・自宅やコミュニケーションルーム（校内の教室とは異なる居場所）、他校でも実習を受けることが可能な「**遠隔システム**」の整備
- ・特色ある体験的学びを充実させるための専門施設・設備の更新・充実

